



2025 年 4 月 10 日

各 位

上場会社名 J F E ホールディングス株式会社
代表者 代表取締役社長 北野 嘉久
(コード番号 5411)
問合せ先責任者 IR 部広報室長 高見 朋子
(TEL 03-3597-3842)

革新電気炉(高効率・大型電気炉)の導入に関する機関決定について

当社子会社の JFE スチール株式会社が、経済産業省が公募していた GX 経済移行債を活用した政府支援策である「排出削減が困難な産業におけるエネルギー・製造プロセス転換支援事業(事業 I (鉄鋼))」において、当該支援事業に採択された旨を 2024 年 12 月 20 日に公表しましたが、このたび、2025 年 4 月 9 日に JFE スチール株式会社西日本製鉄所(倉敷地区)での革新電気炉(高効率・大型電気炉)の導入を機関決定しましたので、お知らせします。

記

1. 支援事業の内容

申請事業者 : JFE スチール株式会社
場所 : 西日本製鉄所 倉敷地区
事業名 : 革新電炉へのプロセス転換
設備投資額 : 3,294 億円
支援上限額 : 1,045 億円

2. 今後の見通し

(1)JFE ホールディングス株式会社 2025 年3月期の連結業績見通しへの影響

本件が業績に与える影響はございません。

(2)今後に与える影響

今後、支援金の決定など、開示すべき事象が発生した場合は、速やかに開示します。

3. その他

詳細は、次項の JFE スチール株式会社、2025 年 4 月 10 日プレスリリース内容をご参照ください。

以 上

2025 年 4 月 10 日
JFE スチール株式会社**革新電気炉(高効率・大型電気炉)の導入決定について**

当社は、カーボンニュートラルに向けた移行期(トランジション期)において西日本製鉄所(倉敷地区)に導入することを検討してきた革新電気炉(高効率・大型電気炉)について、4 月 9 日に機関決定しました。

この革新電気炉の導入に関しては、2024 年 12 月 20 日に GX 経済移行債を活用した政府支援策である「排出削減が困難な産業におけるエネルギー・製造プロセス転換支援事業(事業 I (鉄鋼))」に採択されていましたが、4 月 9 日に当該事業による補助金交付が決定しました。今回の機関決定はそれを受けたものとなります。

今後当社は、速やかに革新電気炉の建設を進め、プロセス転換の早期実現を目指します。

当社は、2050 年のカーボンニュートラル実現に向けた超革新技术の開発を推進すべく、「GI 基金事業/NEDO 製鉄プロセスにおける水素活用プロジェクト」に関する実証試験を行うため、カーボンリサイクル試験高炉や小型試験電気炉などの各種試験設備を東日本製鉄所(千葉地区)で建設しており、開発設備を同一地区へ集中して建設することで、超革新技术の効率的な開発を推進しています。

現在検討中の電気炉では、当社の独自開発技術に加え、上記の GI 基金事業で開発を進めている高品質・高効率溶解技術などの革新プロセス技術を適用する予定です。これらの技術導入と低炭素還元鉄の活用により、世界最大規模の電気炉を導入し、既存の大型電気炉では製造し得なかった電磁鋼板や高張力鋼板などの高品質・高機能鋼材の大量供給体制を世界で初めて実現することを目指しています。

JFE グループは、2021 年 5 月に「JFE グループ環境経営ビジョン 2050」を策定し、気候変動問題への対応を経営の最重要課題と位置付け、その解決に向けた取り組みを強力に推進しています。今後も、さまざまな超革新技术の開発を複線的に推進していくことで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

■設備投資の概要

建設場所	JFE スチール西日本製鉄所(倉敷地区)
投資額	3,294 億円
政府支援額	上限額:1,045 億円
投資内容	革新電気炉、炉外精錬設備、冷鉄源物流設備、岸壁整備 など
生産能力	年間 200 万トン程度
生産開始	2028 年度 1Q

以 上

本件に関するお問い合わせは、下記にお願い致します。
JFEスチール(株)総務部広報室 TEL 03 (3597) 3845